

(近畿) 2025 年 期 追論文テーマ

実施回	テーマ	
第 1 回	実務補習所に通所する上で、「実務補習のミッション・ビジョン・行動指針」を理解し、実践することは不可欠である。 そこで「実務補習のミッション・ビジョン・行動指針」を踏まえて、以下(1)～(2)についてそれぞれ理由も添えて論述しなさい。 (1) あなたはどのような公認会計士を目指したいか。 (2) 目指したい姿を実現するため、あなたはどのような行動が必要だと考えるか。 実務補習のミッションに記載されている『試験合格者が修了考査受験前に身につけるべき「基礎」』を踏まえて、具体的に述べなさい。	
	字数（本論のみ。本論以外は、文字数に含めない。） ※本論における文字数には、「目次」、「はじめに」、「おわりに」は含めない。	1,600 字～2,400 字

実施回	テーマ	
第 2 回	あなたは、2026 年 3 月 31 日（火）に上場企業の棚卸しに 1 人で立会しに行くことになった。棚卸しの立会にあたって、 (1) 事前準備として、やっておこうと思うこと (2) 立会当日の行動として注意したり、あなたなりに工夫しようと考えていることを理由を添えて、できる限り、具体的に述べなさい。 なお、監査調書に記録するような具体的なリスク評価・対応手続に関することだけに限らず、監査チーム内での意識合わせや過去の監査結果の共有、集合場所や集合時間に関する打ち合わせ・当日の挨拶・立会終了後に実施する講評などクライアントとのコミュニケーションに関することを含めること。 当該企業の業種については、自由に設定してよいものとする。	
	字数（本論のみ。本論以外は、文字数に含めない。） ※本論における文字数には、「目次」、「はじめに」、「おわりに」は含めない。	1,600 字～2,400 字

(近畿) 2025 年 期 追論文テーマ

実施回	テーマ	
第 3 回	2023 年 3 月に東京証券取引所がプライム市場及びスタンダード市場の全上場会社を対象に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請を実施しました。 資本コストなどを意識した経営、情報開示が進められているものの、上記要請から 3 年経過した現在においても PBR が 1 倍を割っている企業が散見されます。 東京証券取引所が「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請を実施した背景を述べた上で、なぜ PBR が 1 倍を割る企業が散見される状況が残存しているのかについてあなたの意見を述べなさい。 また、これからあなたが継続的な PBR1 倍割れ企業の CFO に就任すると仮定して、当該状況を打破するために、資本収益性や市場からの評価を改善するために実施しうる施策について、PBR が高い企業が実施している施策を参考にして述べなさい。なお、参考にした企業名は明記すること。	
	字数(本論のみ。本論以外は、文字数に含めない。) ※本論における文字数には、「目次」、「はじめに」、「おわりに」は含めない。	3,200 字～4,000 字

実施回	テーマ	
第 4 回	あなたが担当する上場企業で従業員による資産の流用（例えば、売上の回収代金の横領、会社が取扱う商品の私的流用など）の不正が発覚したとします。 適宜不正リスク対応基準、監査基準報告書 240、監査提言集、過去の類似の不正事案等なども参考に、監査計画をはじめとする会計監査への影響について監査人の立場から適宜場合分けをして論じなさい。 なお、字数の関係から必要な場合には適宜 J-SOX への影響について論じても差し支えない。	
	字数(本論のみ。本論以外は、文字数に含めない。) ※本論における文字数には、「目次」、「はじめに」、「おわりに」は含めない。	4,800 字～5,600 字

(近畿) 2025 年期 追論文テーマ

実施回	テーマ
第 5 回	トランプ関税が話題になっています。 消費税が関税の一部であるとの見方がされていますが、輸出売上に係る消費税の還付、輸入に関する消費税の課税について、諸外国の消費税の課税方法と比較してトランプ大統領の日本の消費税に関する主張の適否について、あなたの意見を述べなさい。
	字数(本論のみ。本論以外は、文字数に含めない。) ※本論における文字数には、「目次」、「はじめに」、「おわりに」は含めない。
	1,600 字～2,400 字

実施回	テーマ
第 6 回	昨今上場会社等が悪意ある者からサイバー攻撃を受ける事案が発生し、ビジネスへの多大なる影響に留まらず、大幅な決算発表の遅延といった事象が生じています。 このように企業にとってこれまでにないほどにサイバーセキュリティへの対応が重要な経営課題といえます。 そこで、昨今の上場企業等に対するサイバー攻撃に関する事案を分析するとともに、仮にあなたが主査を務める上場企業が期中にサイバー攻撃を受けた場合の当該年度の会計監査への影響、J-SOX への影響について監査人の立場から適宜場合分けをして論じなさい。 なお、課題研究にあたっては事前に独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) が公表している資料等を用いてインシデント対応の一連の流れを学んだうえ、取組みなさい。また、課題研究にあたっては日本公認会計士協会テクノロジー委員会研究文書第 10 号「サイバーセキュリティリスクへの監査人の対応 (研究文書)」が参考になるが、当該研究文書はあくまでも参考に留め、必ず自身の考えや意見を織り込んで課題研究に取りこむこと。 したがって、当該研究文書を大幅に引用したものについては採点の対象としないため、十分に認識したうえで課題研究に取り組むこと。
	字数(本論のみ。本論以外は、文字数に含めない。) ※本論における文字数には、「目次」、「はじめに」、「おわりに」は含めない。
	6,400 字～7,200 字